



りんご生産情報 4月ふれあい号



令和6年4月5日

中央地区営農係

今年は3月以降の気温が低く推移したものの、記録的少雨と暖冬の影響から生態が平年より1週間程度早く進んでいます。

生態が早い年は凍霜害に遭遇する可能性が高いことから、気象情報には十分に注意し防霜ファンや燃焼法などを活用し被害を未然に防ぎましょう。

1回目薬剤散布(展葉1週間後)は平年より早くなることが想定されますが、黒星病防除を徹底するため下記写真を参考に「生態に合わせた」適期防除を心がけましょう。間もなく薬剤散布が始まることからSSの整備や通路確保に努めましょう。

1. りんごの生態 → 平年に比べ5日~1週間程度早く推移しています！

品種	発芽日			芽出し当時			展葉日			備考	
	管内	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎		平年
つがる		4/3	(4/4)	4/9	(4/5)	(4/7)	4/14	(4/11)	(4/12)	4/17	和徳管内：津賀野地区 藤崎管内：五林地区 を観測しています。 ※カッコ内は予測値 平年値は当組合生観圃平均
ジョナ		3/29	4/3	4/6	4/3	(4/5)	4/12	(4/6)	(4/11)	4/14	
王林		3/29	4/3	4/6	4/3	(4/5)	4/12	(4/6)	(4/11)	4/14	
ふじ		(4/4)	(4/5)	4/9	(4/5)	(4/7)	4/14	(4/11)	(4/13)	4/17	

2. 薬剤散布 → 1回目は生態を見ながら適期に散布を！！

消雪日や積算温度から予想すると、今年の黒星病菌の飛散は4月14日頃から始まる見込みとなっています。

園地によって生態に差が見られる場合は、生態に合わせて散布を行いましょ。

散布量	散布時期	対象病虫害	基準薬剤及び調合順序	1,000L当りの薬量
1 展葉1週間後 300L/10a	4月18日頃	モニリア病・腐らん病 黒星病 リンゴハダニ・ハマキムシ類 キンモンホソガ・ギンモンハモグリガ	精製マシン油(97) 200倍 バリアード(顆粒) 4,000倍 ※アプロード(F) 1,000倍 ベフラン(液) 1,000倍	5ℓ 1袋(250g) 2本(1ℓ) 2本(1ℓ)
特別散布	※開花が延びた場合		チオノック(F) 500倍	1本(2ℓ)
2 開花直前 320L/10a	4月28日頃	モニリア病・黒星病 ハマキムシ類	カナメ(F) 4,000倍 カスケード(乳) 4,000倍	1本(250ml) 1本(250ml)

※ナシマルカイガラムシが心配される園地では、1回目にアプロードを加用しましょう。

◎散布タイミング◎

・「展葉1週間後」の散布は、葉が5~6枚展葉した頃を目安に、その前後の降雨に合わせて降雨前散布を行いましょ。

~今後の防除のポイント~

- ①天候を考慮しつつ生態に合わせた防除
- ②特別散布の準備
(生態の進みが遅れた場合の対応として)
- ③散布量をしっかりと

この時期の散布は、葉が小さいから「ゆっくり丁寧に」散布すればムラも少なくできるよ！



展葉1週間後頃の散布適期

3. 霜害対策 → 防霜資材の準備をしておきましょう！

晴天無風で前日の午後7時の最低気温が6度以下だと、霜の降りる可能性が高まります。生態が早い年ほど凍霜害に遭いやすくなるため、事前に防霜資材を準備しておきましょう。防霜ファンを設置している園地では、始動温度を2℃に設定しておきましょう。

生育ステージ	発芽直前	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
安全限界温度	-3.5	-2.2	-2.2	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

< 中央地区営農係 >

- 藤崎支店 佐藤 琉乃介 (090-7529-5883)
鳴海 清志郎 (080-9335-0829)
清野 直人 (090-6220-9285)
- 和徳支店 松岡 巧子 (080-6045-9817)
泉 荘 (080-6011-5366)

営農関係でのご質問・相談等ございましたら、担当者へ連絡下さい！

生態の早い年は、凍霜害に注意しましょう！